

マネージメント情報

※ Dr. Gordie Jones の農場

久々に Dr. Gordie Jones の登場です。

現在彼はウィスコンシン州のど真ん中 Nekoosa (ネカーサ) でポテト+野菜農場と共同経営で 4,000 頭規模の酪農をやっています。その名も Central Sands Dairy といいます。以前何度か紹介しました Fair Oaks Dairy の系列農場です。

2007 年の春に新築工事が始まり、9 月から最初の搾乳が始まりクリスマスに全ての牛舎が完成し 3,000 頭の酪農経営が始まりました。

現在、中西別の中山貞幸さんと上春別の山家隆志さん達が視察に行っていて、通訳の鷲山さんから写真を送ってもらいましたので紹介します。

<ウィスコンシン州の真ん中です>



<農場全景>



牛群はジャージー (1/3) とホルスタインとジャージーの F1 “Hojos.” (2/3) で現在の牛群乳量は 75 ポント[※] (34.1kg) で、Gordie が言うにはホルスタインの 85 ポント[※] (38.6kg) と同等の生産価値があるとか？

今後ジャージーに戻し交配していく計画があるそうです。

なぜ、ジャージーか？理由は

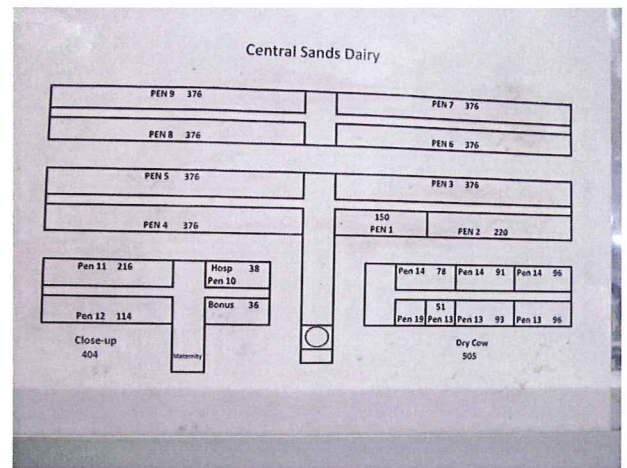
- ① 体格がホルスタインよりも小さいので維持コスト、糞尿、CO2、必要なスペース等、様々の事が少なくてすむこと。
- ② チーズ用に出荷されている為に乳脂肪、乳蛋白質が高いので乳価が高くなる
- ③ F1 “Hojos.” は丈夫であるということ。

＜72ポイントのロータリーパーラー＞

6秒毎に牛が入り約7分で一回転



＜牛舎レイアウト＞



＜ホールディングエリアに続く広い横断通路＞

こんなに広くしたのは、大型機械がUターンできるようにということでしたが、広い通路のために牛の行動が落ち着き、排糞量が減ることで牛体が汚れなくなった事によって結果として乳房炎予防に効果がある事がわかったそうです。



＜4,000頭牛群の薬棚＞

ハイファイバーローエネルギーの乾牛管理で第四胃変位の発生は毎月300頭分娩して1頭のレベルとのこと。

農場全体のテーマは“Simple Elegance” 分娩の時は“Freshen healthy” and “Freshen hungry”がキーワード

“Freshen hungry”とは面白いですね



<Gordie Jones と Andy Johnson①>



<Gordie Jones と Andy Johnson②>



訪問した日は偶然農場のミルカー点検の日
で Andy Johnson が管理しているとのこと

-
- ・宮崎県の口蹄疫の発生状況は本当に心が痛みます。ウイルスの排菌量が牛の 1000 倍といわれている豚に発生が起ってからには本当にアウトブレイクという状況です。
毎日農水省のプレスリリースを確認することから一日が始まるようになりましたが、発表される農場の数が日増しに増えています。漸く半径 10km 以内のワクチン接種と 20km 以内に緩衝地帯を作るべく早期淘汰という方針が決まりましたが、その是非は別にして現場のみなさんはわれわれが想像することもできないような状況の中、毎日死ぬもの狂いで対応されていることと思っています。
ただ、ただ一日も早い終息を祈ることしかできません。
なにも特別な事が起こらないごく平凡な普通の日々がどれだけありがたいことかあらためて痛感しているところです。
 - ・今年は 5/6 にオオジギ、5/12 に鶯の初鳴きを聞きました。昨年よりも 2 週間遅れです。
それでもデントコーンの播種作業も始まり根室原野にも春到来ということでしょうか？ でもここ二三日は本当に寒いです。
 - ・先日、西越さんから連絡があり、今年の 8 月お盆明け位に別海に遊びに来る予定を立てているとのことでした。近くなりましたらみなさんにも再度連絡しますので、懐かしい彼の顔を見てあげてください。